

# ヴェリタス学習会通信69

予定表カレンダー →



## 令和4年12月の予定

- ・月曜日 12月5・12・19日 大安公民館1階研修室 18:30~21:00  
26日 ヴェリタス事務局 18:30~21:00
- ・水曜日 12月7・14・21・28日 ヴェリタス事務局 18:30~21:00
- ・木曜日 12月1・8・15・22日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00~20:30
- ・金曜日 12月2・9・16・23日 北勢福祉センター2階小会議室 18:30~21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

29日(木)~1月3日(火)はお休みです。

26日(月)は施設が貸し切りで利用できません。ヴェリタス事務局で行います。

## 連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：[npooveritas@gmail.com](mailto:npooveritas@gmail.com)

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。メールや LINE 登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINE を利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



## Zoom などの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がる Zoom クラウドミーティングや Skype, Facetime, Google Meet などを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

## look, see, watch

『見る』は英語でなんて言うの?と聞かれると、答えるのに少々時間が掛かります。

中学校でぜひマスターしてほしい語に、小見出しの語の3つがあります。

1) look 「見ようとして見る」「~のように見える」

- 2) **see** 「自然に目に入る」「会う」
- 3) **watch** 「動くものを見る」「観察する」

(1) は何かを見るとき、対象物の前に **at** などの前置詞が必要です。

**Look at that building.** 「あの建物を見て」

また、形容詞を補語にして、「形容詞のように見える」という使い方もできます。

**You look busy these days.** 「あなたは最近、いそがしそうに見えます」

“like+名詞”を補語にすることもできます。

**Humpty Dumpty looks like an egg.** 「ハンプティダンプティは卵のように見えます」



(2) は、見ようとしなくても目に入ってしまうときに使います。

**Can you see a bird in that tree?** 「あの木にとまっている鳥が見えますか」

**can** がなくても、「見える」と訳した方がしっくりくる場合があります。

**See you later.** 「あとで会いましょう」      **I see.** 「わかりました」

「会う」や「わかる」という意味になる場合があります。



(3) は動くものを見るときに使います。また観察するという要素も入ります。

**He watches TV every day.** 「彼は毎日テレビを見ます」

**I am going to watch a basketball game tonight.** 「今夜バスケの試合を見る予定です」

テレビの画面の中の人物や景色が動きます。試合でもボールや選手が動きます。

ただ、映画館で映画を見るときは、**watch** よりも **see** が使われる例が多いようです。スクリーンが大きいので、自然に目に入ってくるという要素が強いのだと思います。

**Watch out for pickpockets.** 「スリには気を付けて」

## listen, hear

「きく」についてもまとめておきます。

1) **listen** 「聞こうとして聞く」「身を入れて聞く」「聴く』という字を当てることが多い

**She is listening to music.** 「彼女は音楽を聴いています」「彼女は音楽を聴いているところです」

聞くものの前に前置詞 **to** を置きます。

2) **hear** 「自然に聞こえる」「耳に入ってくる」「聞こえる」

**We heard a big noise last night.** 「私たちは昨夜、大きな音を聞いた」

**Can you hear me?** 「私の言っていることが聞こえますか」

**can** が **do** でも「聞こえる」と訳してもらって構いません。**me** だけで「私の話すことば・声」という意味を表しています。



英和辞典などには、このように似た意味の語の使い分けも書かれています。ぜひ引いてみましょう。